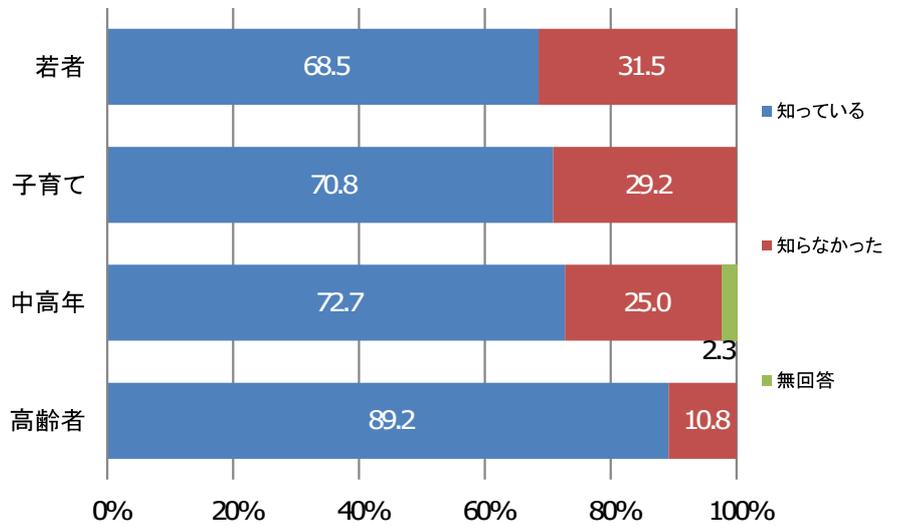
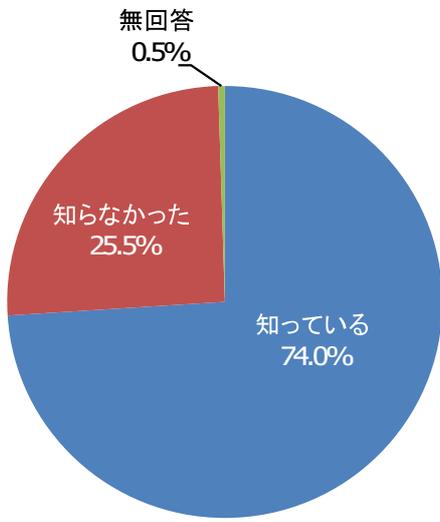


<水道料金について>

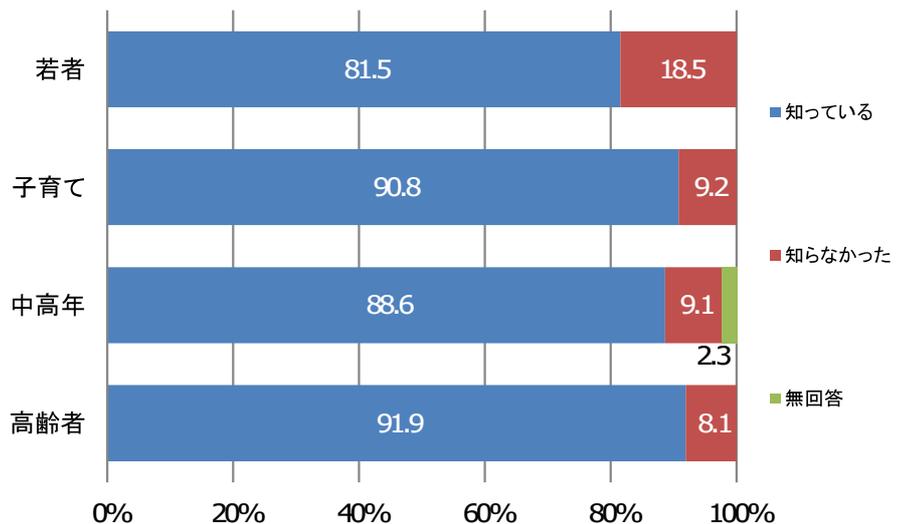
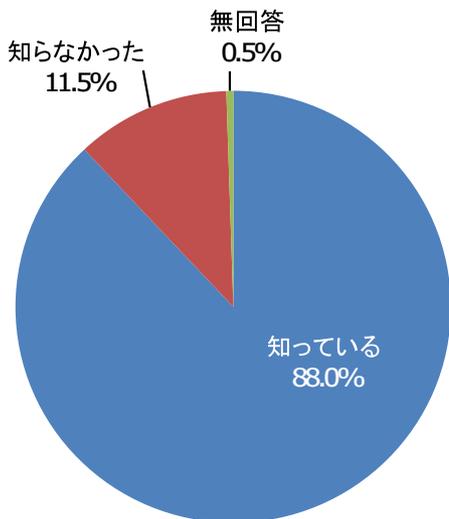
■問1 水道事業は税金ではなく利用者からの料金収入で運営していることの認知度

(n=200)



- 水道事業は税金ではなく利用者からの料金収入で運営していることの認知度については、「知っている」が約7割となっています。
- 世代別にみると、世代が高くなるにつれて「知っている」の回答割合が高くなっており、高齢者では約9割となっています。

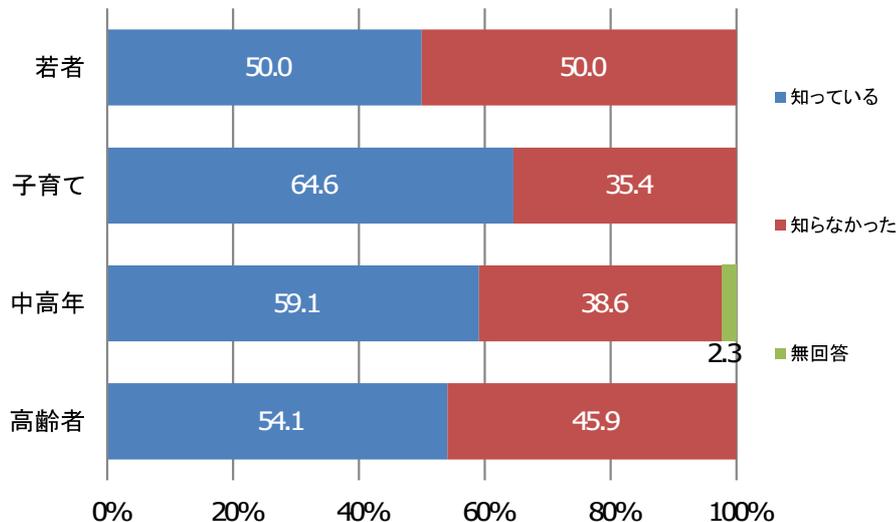
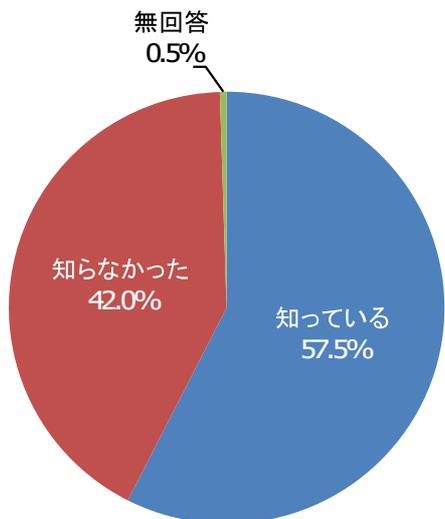
■問2 水道料金が毎月固定の基本料金と使用水量に応じた従量料金の2種類で構成されていることの認知度 (n=200)



- 水道料金が毎月固定の基本料金と使用水量に応じた従量料金の2種類で構成されていることの認知度については、「知っている」が約9割となっています。
- 世代別にみると、若者の約8割、子育て・中高年・高齢者の約9割が「知っている」と回答しています。

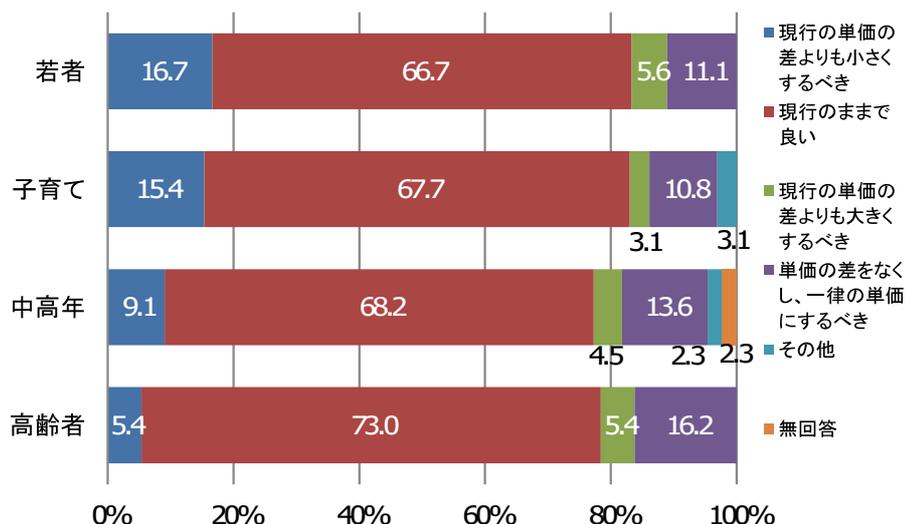
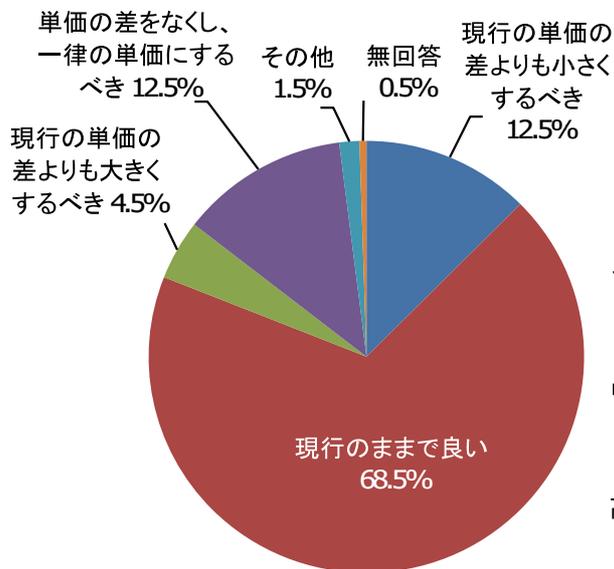
問3 浜松市の水道料金は使用水量が増えるにつれて段階的に単価が高くなる料金体系※であることの認知度 (n=200)

※ 最低単価: 税込44円/㎡(10㎡まで)、最高単価: 税込220円/㎡(500㎡超)



- 浜松市の水道料金は使用水量が増えるにつれて段階的に単価が高くなる料金体系であることの認知度については、「知っている」が約6割となっています。
- 世代別にみると、若者・高齢者の約5割、子育て・中高年の約6割が「知っている」と回答しています。

問4 使用水量が多くなるほど単価が高くなる水道料金体系をどう思うか (n=200)

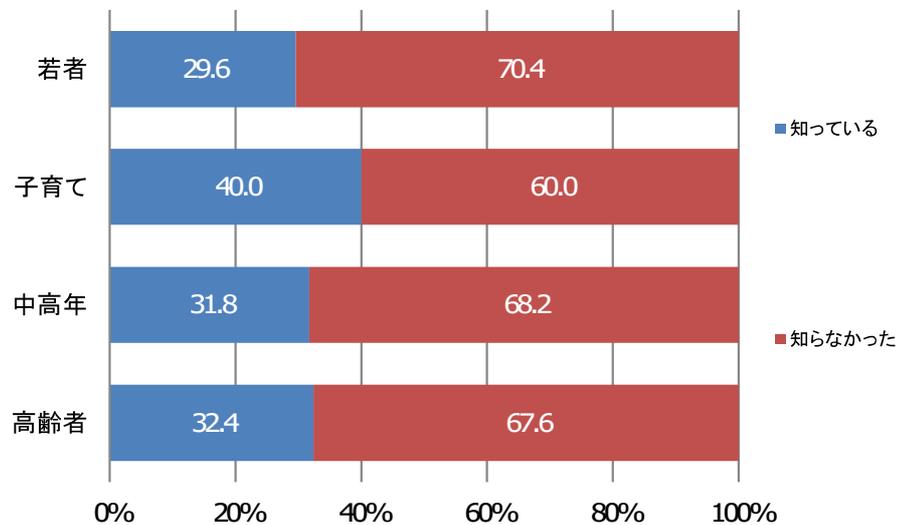
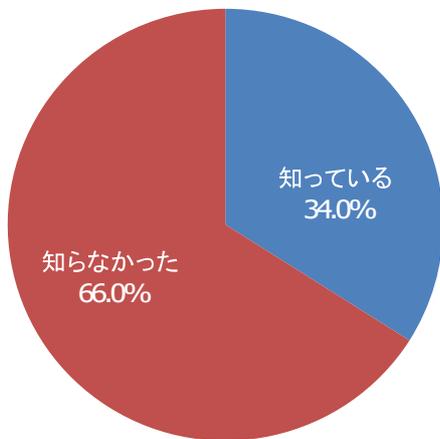


- 使用水量が多くなるほど単価が高くなる水道料金体系をどう思うかについては、「現行のままで良い」が約7割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「現行のままで良い」が最も多い回答となっています。

問5 水道料金収入の大半が固定的な経費※のために使われていることの認知度

(n=200)

※ 過去の建設投資に対する費用や施設(浄水場や水道管など)修繕費など、水道の使用量の増減とは関係なく発生する経費

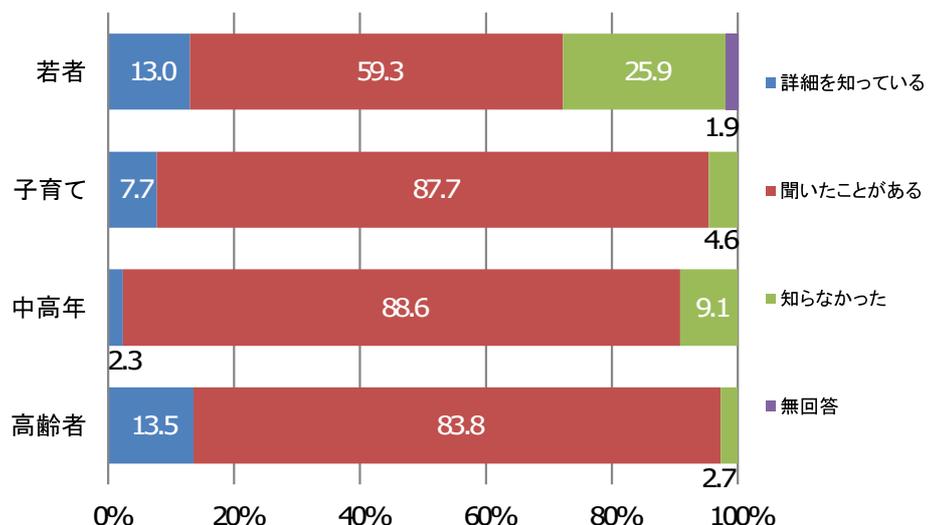
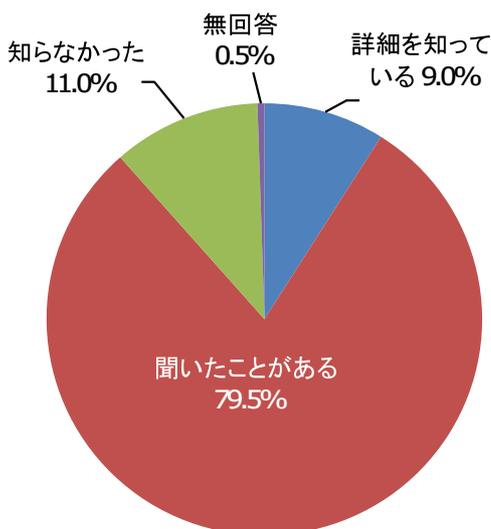


- 水道料金収入の大半が固定的な経費のために使われていることの認知度については、「知っている」が約3割となっています。
- 世代別にみると、若者・中高年・高齢者の約3割、子育ての4割が「知っている」と回答しています。

問6 水道管が将来的に日常生活に影響を及ぼすリスク※を抱えていることの認知度

(n=200)

※ 老朽化による水道管破裂に伴う漏水・断水や道路陥没など



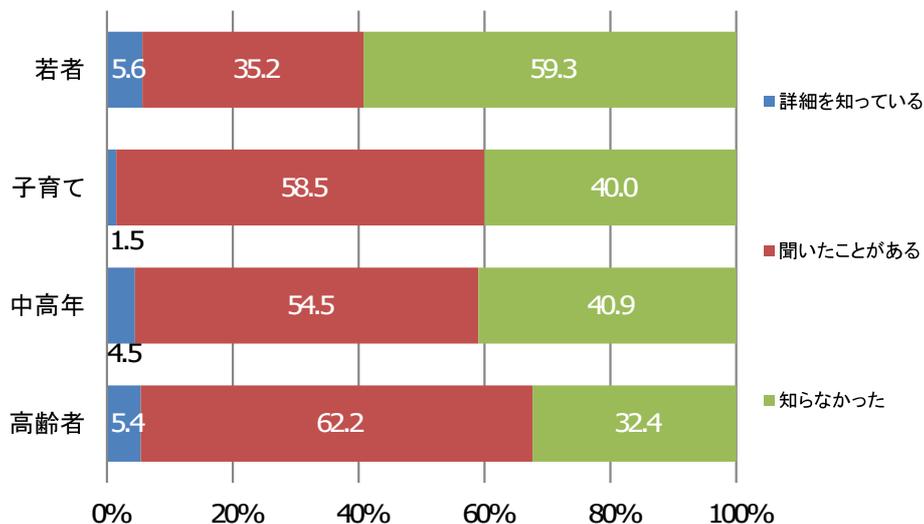
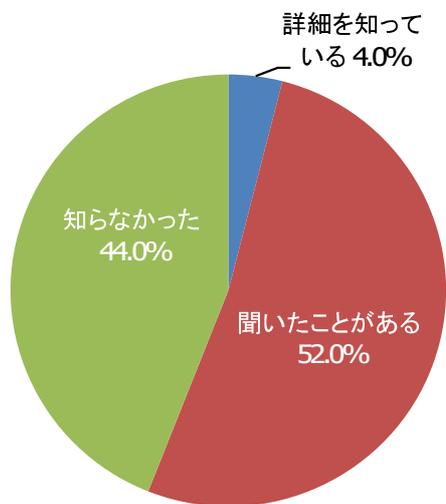
- 水道管が将来的に日常生活に影響を及ぼすリスクを抱えていることの認知度については、「詳細を知っている」と「聞いたことがある」の合計が約9割となっています。
- 世代別にみると、「詳細を知っている」と「聞いたことがある」の合計が若者は約7割であるものの、子育て、中高年、高齢者は9割を超えています。

問7 水道管などの更新費用増大のため経常収益※1を増加させる必要があるとの試算があること※2の認知度 (n=200)

※1 水道料金、手数料、他会計負担金等のこと

※2 浜松市水道事業アセットマネジメント計画[改定版](2021年12月策定)本編19ページ

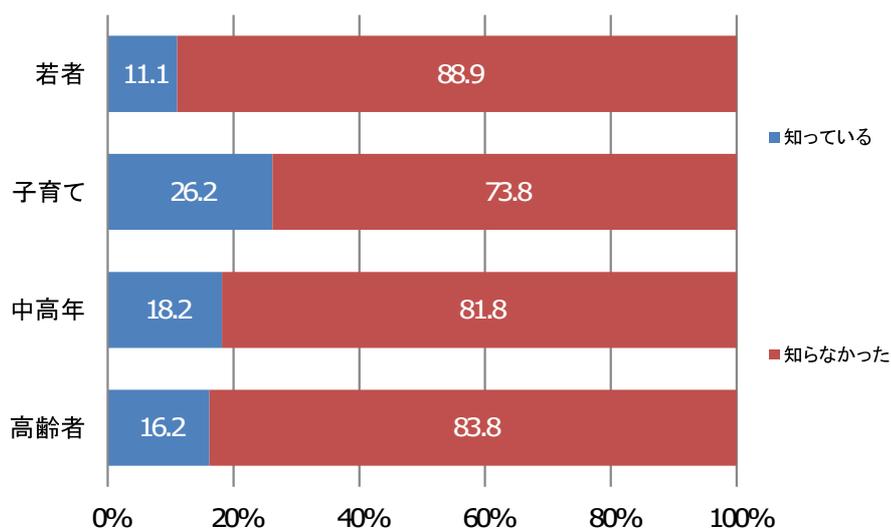
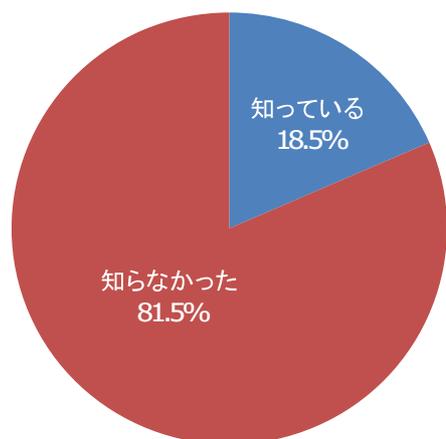
【URL】<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/sd-kouji/asetto/asettomanejimento.html>



- 水道管などの更新費用増大のため経常収益を増加させる必要があるとの試算があることの認知度については、「詳細を知っている」と「聞いたことがある」の合計が約6割となっています。
- 世代別にみると、「詳細を知っている」と「聞いたことがある」の合計が若者は約4割であるものの、子育て・中高年は約6割、高齢者は約7割となっています。

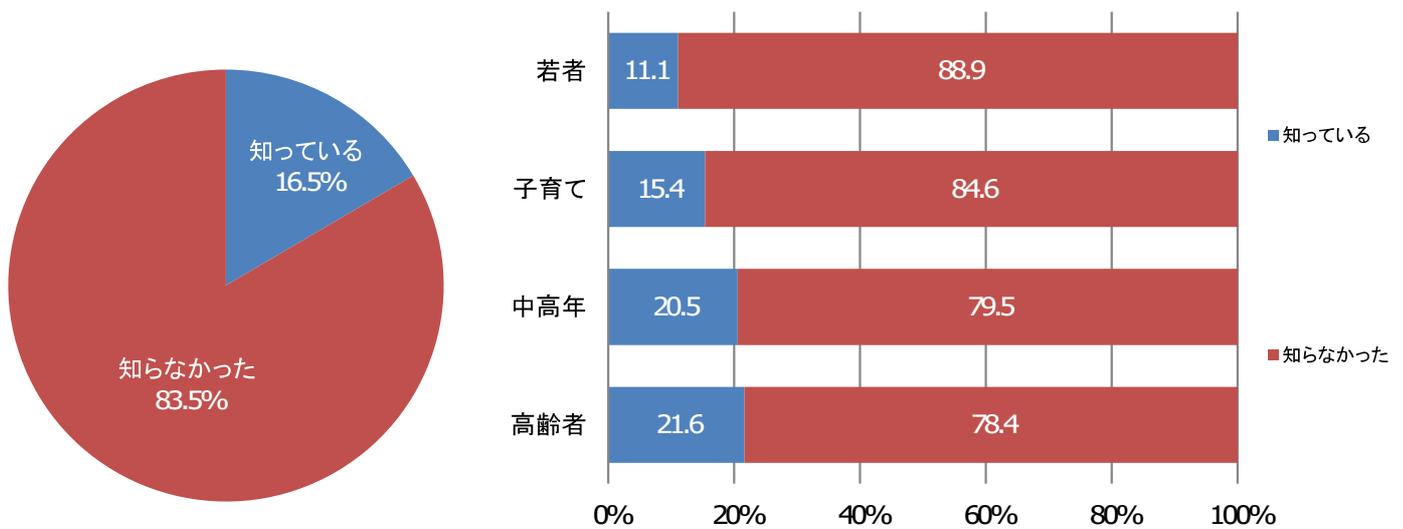
問8 浜松市の一般家庭の水道料金が政令指定都市や県西部地域と比べると安価であること※の認知度 (n=200)

※ 2024年1月1日現在、一般家庭(口径13mm、月20㎡利用)の場合、浜松市は税込2,156円で政令指定都市の中で2番目に安く、県西部地域で最も安い水道料金。なお、政令指定都市の平均は税込2,682円、県西部地域の平均は税込2,772円。



- 浜松市の一般家庭の水道料金が政令指定都市や県西部地域と比べると安価であることの認知度については、「知らない」が約8割となっています。
- 世代別にみると、若者の約9割、子育ての約7割、中高年・高齢者の約8割が「知らない」と回答しています。

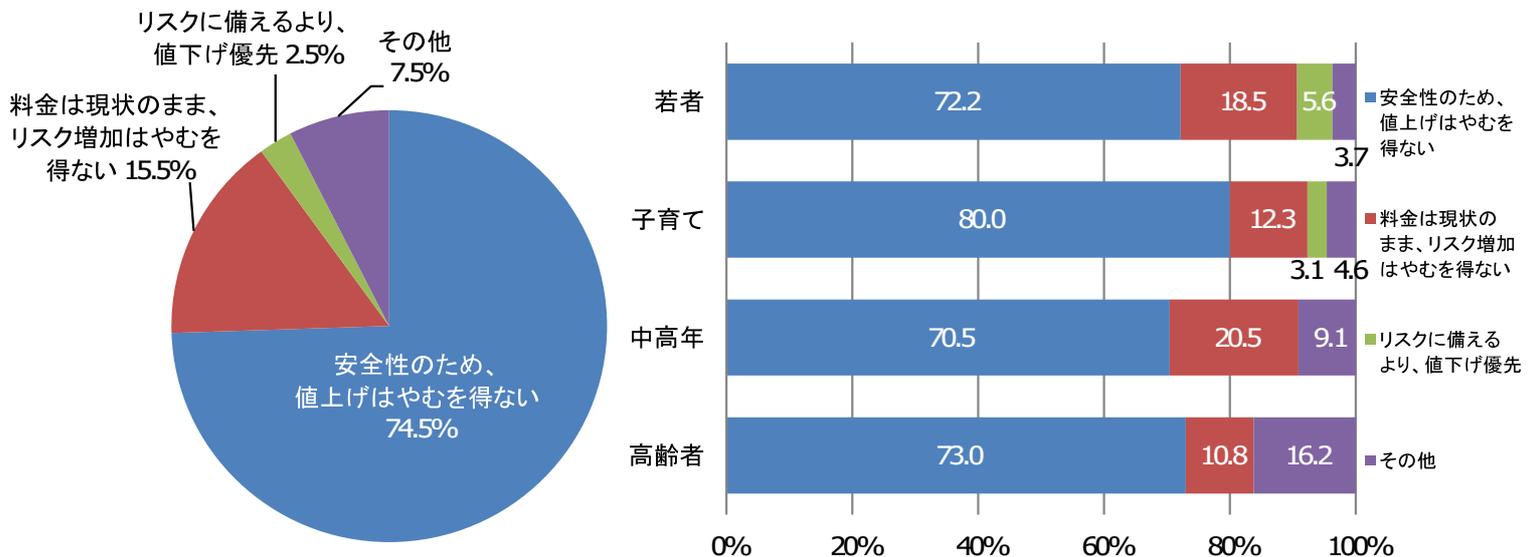
■問9 本市が消費税率変更に伴う改定を除き16年間一度も水道料金の改定を行っていないことの認知度 (n=200)



- 本市が消費税率変更に伴う改定を除き16年間一度も水道料金の改定を行っていないことの認知度については、「知らなかった」が約8割となっています。
- 世代別にみると、世代が低くなるにつれて「知らなかった」の回答割合が高くなっており、若者では約9割となっています。

■問10 水道の安全性確保※と水道料金の値上げのバランスをどう思うか (n=200)

※老朽化による日常生活へのリスクや災害への対策としての水道管等の更新



- 水道の安全性確保と水道料金の値上げのバランスをどう思うかについては、「安全性のため、値上げはやむを得ない」が約7割となっています。
- 世代別にみると、若者・中高年・高齢者では約7割、子育てでは8割が「安全性のため、値上げはやむを得ない」と回答しています。